

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌(暫定版)

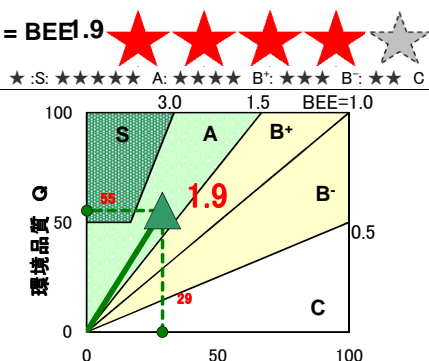
## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	札幌医科大学教育研究施設 I	階数	地上10F		
建設地	札幌市中央区南1条西17丁目291	構造	SRC造		
用途地域	商業地域、近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,500 人		
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日			
敷地面積	21,422 m <sup>2</sup>	作成者			
建築面積	1,969 m <sup>2</sup>	確認日			
延床面積	17,975 m <sup>2</sup>	確認者			

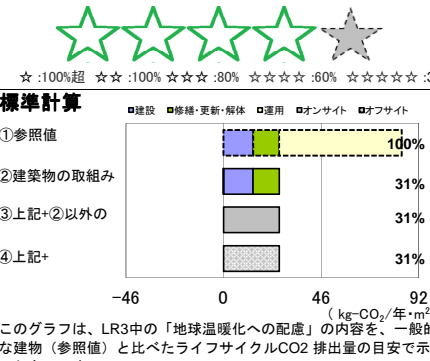
### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.9**



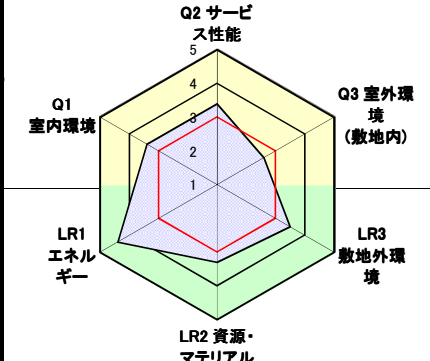
★:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C:★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 31%  
 ③上記+②以外の 31%  
 ④上記+ 31%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

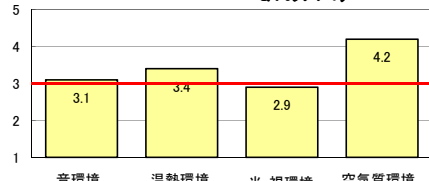


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

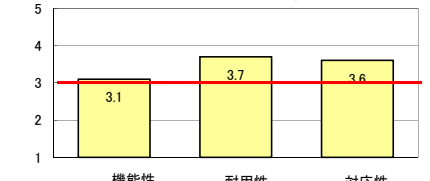
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4



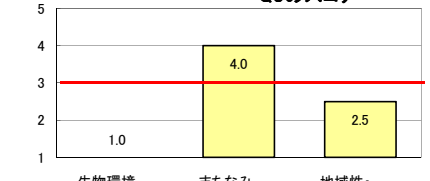
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4



#### Q3 室外環境(敷地内)

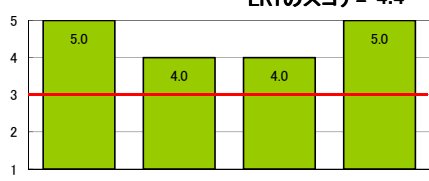
Q3のスコア = 2.6



**LR のスコア = 3.8**


#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4



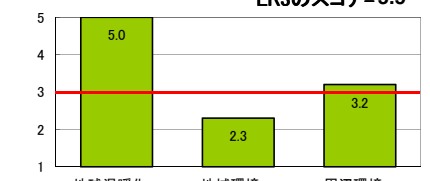
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 札幌医科大学のキャンパスの顔づくりとなる教育研究施設の西側計画。外観は周辺の校舎や建物と調和する色彩・外装計画とし、内部には学生の交流の中心となるアトリウム空間を計画した。		<b>その他</b> 注) 上記の4つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</b> 注) 「W (Global Warming) : 省エネルギー・省資源」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物は外断熱工法を採用。また建物の中心のアトリウムは利用者の動線の中心となりながら、トップライトによる自然採光を行った。	<b>G (Green) 緑化</b> 注) 「G (Green) : 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 将来工事の東側エントランス前には学生の溜まりと交流の場となる広場を計画予定。	<b>S (Snow) 雪処理</b> 注) 「S (Snow) : 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される